

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

西暦 2024 年 12 月 12 日作成 第 1.1 版

研究課題名	ヒト iPS 細胞由来オルガノイドを活用した代謝機能障害関連脂肪肝炎に対する新規治療法開発
研究の対象	横浜市立大学附属病院に通院される方のうち分娩予定の妊婦で十分な説明の上で研究の協力に同意が得られた方、あるいは脂肪肝及び非アルコール性脂肪性肝炎の診断基準を満たし、十分な説明の上で研究の協力に同意が得られた方
研究の目的	本研究は代謝機能障害関連脂肪肝炎 (MASH: metabolic dysfunction associated steatohepatitis (旧 NASH)) に対する新規治療法の開発に向け、MASH の病態を再現する肝臓オルガノイドの作製方法を確立することを目的としています。
研究の方法	本研究では分娩時に採取した臍帯・臍帯血の細胞を、iPS 細胞から分化誘導した肝細胞等と混合して肝臓オルガノイドを作製し、MASH の発症や進展に關与する刺激を付加することにより、体外で MASH の病態再現を試みます。病態再現性を確認するため、MASH 患者よりご提供頂いた肝臓組織サンプルとの比較解析を行います。ヒト MASH を再現する病態モデルは MASH の治療法開発に極めて有益と考えられます。
研究期間	西暦 2025 年 6 月 27 日 (実施機関の長の許可日) ~ 西暦 2030 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の項目	分娩時に破棄する臍帯・臍帯血の余剰組織を使用します。また、MASH の診断に用いられた肝生検検体の残余を一部、使用します。
試料・情報の授受	採取した臍帯・臍帯血や肝臓組織は、本研究の主機関である東京大学医科学研究所へ提供されます。また、採取細胞の遺伝情報や代謝情報などを正確に解析するため、細胞抽出物を専門の測定技術を持つ横浜市大外の施設 (タカラバイオ、アゼンタ、レリクサ、KOTAI バイオテクノロジー等) に搬送し、詳細な遺伝子発現解析・ゲノム解析・メタボローム解析等を実施します。採取した細胞の遺伝子情報等は医学研究の貴重な資源となるため、製薬会社や他の研究機関に提供する場合があります。
試料・情報の管理について責任を有する者	【研究代表機関に集積された検体・情報の管理】 東京大学医科学研究所 再生医学分野 谷口 英樹 【対応表の管理】 肝生検サンプル：横浜市立大学医学研究科 肝胆膵消化器学 岩城 慶大 臍帯・臍帯血サンプル：横浜市立大学附属病院 産婦人科 今井 雄一 【共有された情報の管理】 横浜市立大学医学研究科 肝胆膵消化器学 米田 正人
利益相反	本研究は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)、東京大学運営費交付金、東京大学寄付金を用いて行います。本研究では、特定の企業や団体からの資金援助はないため、開示すべき利益相反関係はありません。

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

研究組織 (利用する者の範囲)	【研究代表機関と研究代表者】 東京大学医科学研究所 再生医学分野 (研究代表者) 谷口 英樹 【共同研究機関と研究責任者】 横浜市立大学医学研究科 肝胆膵消化器学 (研究責任者) 米田 正人 横浜市立大学附属病院 産婦人科
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、検体等の提供者の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1 東京大学 医科学研究所 再生医学分野 (研究責任者) 谷口 英樹 横浜市立大学医学研究科 (個人情報管理者) 肝胆膵消化器病学 岩城 慶大 横浜市立大学附属病院 (個人情報管理者) 産婦人科 今井 雄一 電話番号：045 - 787 - 2800 (代表) FAX：045 - 787 - 2866	